

# 「過ぎ去ろうとしない過去 歴史を現在にいかにかかすか？ 長崎編」

担当教員名 辻 英史 竹本 研史

## コース概要

日程	2018年8月22日～25日
場所	長崎県長崎市
参加人数	11名

## コースのねらい

地域社会は、その歴史遺産をどのように活用しているのか？  
現在、歴史を活用した地域振興やまちづくりが各地で盛んにおこなわれています。街の魅力を外に向かって発信しようとする際に、その街に固有の歴史上の人物や事件、建築物はどのような役割を演じているのでしょうか。郷土愛やアイデンティティは地域の歴史を通じてどのように作り上げられていくのでしょうか。長崎を実例として、これらの取り組みを学びます。

## 内容

- 長崎のさまざまな歴史遺産を訪問  
長崎歴史文化博物館  
三菱長崎造船所史料館  
長崎原爆資料館／平和公園  
大浦天主堂・グラバー園  
軍艦島デジタルミュージアム  
長崎くんちの練習
- NPO 法人・長崎コンプラドールの皆さんとともにまちあるき  
長崎の夜景&星空散歩  
長崎市街中心部の  
長崎のキリスト教遺産



西坂の日本二十六聖人記念館前にて



鍋冠山から見た長崎の夜景

## 学習を終えて

長崎さるくという活動が一番印象に残った。この活動を通して長崎の従来の観光名所だけ巡るのではなく、何気ないところをガイドとともに歩き、長崎の良さを知ってもらう。更に長崎の魅力を体感したのち再び訪れてもらうことを目標としている。「さるく」とは長崎の方言で「歩く、歩き回る」という意味だ。私自身まちあるきと言われてあまり興味が起きなかったが、さるいたことによって長崎をまた訪れたいと思えたのである。(1年 大槻あおい)



眼鏡橋にて